

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和2年(2020年)度第4四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

1月から3月までの来館者数は5,658人で、昨年の第4四半期より281人、約5.2%の増となった。

(2) 分析

1月からは、当初の事業計画で予定していた収蔵品展「作家 身のまわり その2」を実施した。令和元年度は2月28日から3月は臨時休館していたこともあり、元年度と比較すると来館者数が増加しているが、前年度までの第三期指定期間同四半期平均と比較すると43.6%減少している。

普及事業を徐々に再開する予定だったが、1月7日から3月21日まで緊急事態宣言が再び発令されるなどにより中止としたこと、宣言期間中は、外出を控えなければならなかったことが影響していると思われる。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

(2) 文学館資料

ア 収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。

イ 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(3件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

事業計画どおり、特別展及び常設展を開催した。

ア 収蔵品展「作家 身のまわり その2」(1月5日～3月31日開催)

イ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」

ウ ミニ特集「生誕140年記念 厨川白村」(1月5日～3月5日開催)

エ ミニ特集「関東大震災をこえて～久米正雄」(3月6日～3月31日開催)

オ ミニ展示「全米図書賞(翻訳文学部門)受賞記念 柳美里」(1月5日～3月31日)

(2) 普及事業

ア 「鎌倉ゆかりの文学」上映を人数制限及び感染防止対策を講じたうえで実施した。

イ ギャラリートークは、感染拡大防止の観点から中止した。

ウ 第9回鎌倉こども文学賞受賞発表式及び文学講座等を、感染拡大防止のため期間限定で動画配信により実施した。

エ 文学散歩及び鎌倉彫ワークショップを開催予定であったが、緊急事態宣言延長に伴い中止した。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア 鎌倉はせのわ「梅まぢめぐり」や大仏通り商店街が作成するプロモーション動画制作に協力する等、地域と連携しながら文学に親しむ機会を提供した。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

- (1) 収蔵品の適切な保存、整理ができています。
- (2) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

(1) 文学館資料の調査及び研究

1月

- ・ 特別展及び常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 新規購入資料の調査研究(芥川龍之介短冊)
- ・ バレンタイン特別展にかかる調査研究
- ・ 朗読講座にかかる調査研究
- ・ 資料解説講座にかかる調査研究
- ・ 資料調査講座にかかる調査研究
- ・ 全国文学館協議会紀要掲載原稿にかかる調査研究

2月

- ・ 特別展及び常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 令和3年度特別展1にかかる調査研究
- ・ 「鎌倉逍遥」掲載原稿執筆にかかる調査研究
- ・ 文学散歩にかかる調査研究
- ・ 朗読講座にかかる調査研究
- ・ 資料解説講座にかかる調査研究
- ・ 資料調査講座にかかる調査研究

3月

- ・ 特別品展及び常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定や受入れ
- ・ 新規購入資料の調査研究(川口松太郎原稿、佐佐木茂索草稿、金井直草稿、与謝野寛短冊、千家元麿自筆草稿)
- ・ 令和3年度特別展1にかかる調査研究
- ・ 全国文学館協議会共同展示「文学と天変地変」にかかる調査研究
- ・ 文学散歩にかかる調査研究

(2) 事務処理

ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。

(1月分:2月9日、2月分:3月10日、3月分:4月9日)

イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

ウ 市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。

(3) その他

ア Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeといったSNSを活用し、タイムリーな情報の発信を行った。

イ メディア対応を積極的に行った。

ウ 近隣保育園・幼稚園の受入れを行った。

エ 学校や各種団体の視察等に対応した。

6 全体評価

- (1) 1月5日から当初の事業計画どおり収蔵品展「作家 身のまわり その2」及び常設展を開催した。また、文学講座や表彰式といった普及活動の動画配信を実施することにより、実際に文学館に足を運ぶことが出来ない方々へも、アプローチを行うことにより観覧者の関心を高めるだけでなく、観覧者数回復に努めていた。また、1月7日からの緊急事態宣言により、予定していた普及事業が中止となったが、適宜迅速に判断及び参加者への連絡を行っていた。
- (2) 第4四半期の来館者数(5,658人)は、前指定管理期間の平均値(11,449人)と比較すると約50.6%減少した。令和元年度(5,377人)と比較すると約5.2%増加しているが、令和元年度が、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い臨時休館しており、入館者数が少なかったためである。また、緊急事態宣言が発令していたこともあり、引続き外出控えや普及活動が制限されたことが原因として挙げられると考える。
- (3) SNSを活用し、随時情報発信することで、鎌倉ゆかりの文学や展示内容に関心のある対象者層に届くように積極的に発信を行っていた。今後も、より効果的な広報、情報発信について工夫をし、続けられたい。
- (4) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和2年度 第4四半期 判定評価

評価項目	配点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができていないか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%